



のびのこちゃん

横浜市立竹山小学校 学校だより

あ お だ け



令和5年6月30日 7月号

たけまるくん

ひと とお まな 人とのかかわりを通して学ぶ



こうちよう いまむら きみこ
校長 今村 公子

蒸し暑い日が続くようになりましたが、紫陽花がまちのあちらこちらで咲き続け、子どもたちが育てている植物もぐんぐん成長しています。

7月から今年度の「放課後学び場事業」が始まります。本事業は、大学生や地域住民等の協力による学習支援活動で、子どもたちの学習習慣の確立と基礎学力の向上を図り、子どもたちの自己肯定感や将来の夢を育むことを目的として行われています。本校でも、昨年度から、地域の方による竹山学習支援運営委員会が発足し、「竹山宿題応援団」という名称で実施をしています。今年度も子どもたちの下校時の安全面を考慮し、木曜日の6校時の時間帯に3年生を対象として実施します。昨年度末、参加した3年生からは「宿題や学習をやり終えて、帰ってからすっきりした気持ちで遊ぶことができる。」「大学生のお兄さんたちに会うのが楽しみ。」という感想が聞かれました。やらなければいけないことをやり終えることの達成感や大学生、地域の方々とかかわること、つながることの楽しさを感じたようです。

5年生は、毎年、学校の田んぼで田植えをしています。鴨居市民の森の方々のご協力により、土づくりや田植えの仕方を教わりながら米作り体験をしています。田植えのときには、田んぼの中に足を踏み入れることにわくわく・そわそわ。本物の体験です。土の感触を大いに味わいました。鴨居市民の森の方々が、定期的に田んぼの様子も見に来てくださるおかげで、稲も順調に育っています。

この他にも、登下校の安全見守りなど、子どもたちの成長に、保護者の方を含めたたくさんの方々の地域の方々のお力添えをいただけることは大変ありがたいことです。これからもいろいろな方にご協力いただきながら教育活動を進め、子どもたちが人とかかわることを通して、人との良好な関係づくりを学び、学ぶ楽しさを味わってほしいと思います。

早いもので、まもなく夏休みを迎えようとしています。7月も健康に気を付け、元気に夏を過ごしたいものです。